

令和6年度ひろしま自然保育推進事業 活動報告書

- 活動報告書は、HP で公表しますので、公開可能な内容としてください。
- データのサイズは、写真を含め、8M以内に収め、ワード文書にて提出してください。
- こちらの報告書フォームに沿って全て記入してください。

令和7年4月25日

団体所在地 廿日市市串戸3丁目1-6
団体の名称 特定非営利活動法人キッズNPO
職・氏名 みやじま保育園長 田中聖也
(施設名 みやじま保育園)

1 活動報告

【4月～6月】(春季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

- ・春探し(花や新芽、虫探しなど)
- ・自然公園散策・水辺の生き物観察&散策
- ・自然保育を行っていない他法人の園と自然の中での交流保育
- ・海ごみ活動&ビーチコーミング
- ・畑の活動(冬野菜の種取り、土づくり、夏野菜の種まき苗植えなど)

【7月～9月】(夏季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

- ・雨の日散策
- ・自然公園散策
- ・川遊び(生き物観察、海まで歩こう)
- ・海遊び(干潟観察、生き物観察)
- ・畑の活動(夏野菜の収穫)
- ・海ごみでの制作、地域のお祭での展示&作品販売

【10月～12月】(秋季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

- ・稲刈り
- ・もちつき
- ・農園の活動(野菜の収穫、農園内散策)
- ・秋探し(木の実拾い、葉っぱ拾いなど)
- ・自然公園散策
- ・シーカヤック体験
- ・畑の活動(冬野菜の種まき苗植え、収穫など)

【1月～3月】(冬季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

- ・冬探し(霜柱、氷、花など)、雪遊び
- ・自然公園散策
- ・倒木や枯れ枝での家づくり
- ・氷作り
- ・チャレンジ登山(弥山)
- ・農園の活動(野菜の収穫、ブーケ作り、散策)
- ・草木染め

活動報告（詳細）

1シーズンにつき最も印象的だった活動のエピソード1つご記入してください。

エピソードは、活動プロセス、保育者の関わり、子どもの育ちの見取りを端的にお願いします。

写真は基本1枚です。

【4月～6月】

(写真)



(エピソード記述)

他法人の施設の幼児組と包ヶ浦自然公園に出かけ、交流保育を行いました。自然保育を積極的に行っている園ではないので、外での活動が新鮮なようで大興奮の子ども達でした。ただ、やはり、虫が飛んできたり、鹿のフンがたくさん落ちていたりすると、「むし、いやだ!」「うんち、きたない!」などの声が…。「自然の中は、虫や生き物達のお家だよ。」「鹿のフンを踏んだら速く走れるよ!」（廿日市市の小学生に代々受け継がれている迷信?です）などを伝えると、理解してくれる子が多く「こっちが避ければ良いよね」などと、段々遊び始める姿が見られました。鹿のフンが気になり遊べない子は、自ら踏んで走り回り出すほどに。

言葉一つで、気持ちを切り替える子ども達ってすごいなと感心しました。その後は、みやじま保育園の子ども達同様、自然の中の遊びを、満喫していました。

【7月～9月】

(写真)



(エピソード記述)

毎年行っている海ごみ活動。定期的に行うことで、遊んでいる場所でごみを見つけると、子ども達自らごみを拾うようになっています。今年は更に、地域の方を巻き込んでみました。毎年開催されている地域のお祭の中に作品展があります。その作品を浜で拾ったごみ(主にカキ養殖で出るプラスチックのパイプなど)を使用し作りました。また、子ども達の「やりたい!」の声で、くじびきコーナーも任せてもらうことに。子どもたちと一緒に意見を出し合い、景品も作品と同様にゴミで作りました。そのままだと「ごみ」となるものが、人に喜んでもらえる物に生まれ変わらせることができました。作品を観たり、景品を受け取った方からは、「ゴミがこんなになるんじゃね」「もっと大人が考えんといけん」などなど。子ども達や職員の発想で、地域の方が色々考えるきっかけになったことだと思います。

【10月～12月】



(エピソード記述)

6月に中岡農園さんで植えたサツマイモが大きくなり、3日間に分けて、保護者の方と一緒に掘りました。

サツマイモの成長を喜び、芋ほりを楽しみにしてた子ども達。

「どこにあるんかね」「あ！（サツマイモ）見えた！」と、みんなで探しては手やスコップで黙々と掘り、保護者の方や保育者からの声援をもらい、一生懸命に引っこ抜いていました。引っこ抜けた時は、とても嬉しそうで、満足感で溢れ、「もっと掘る！」と意欲的に芋掘りに参加する姿が見られました。

終わった後はみんなでお弁当タイム。秋空の中、芋掘りを頑張った疲れと充実感で、作ってもらったお弁当もよりおいしかったと思います。

【1月～3月】



(エピソード記述)

宮島に久しぶりに雪が積もり、雪遊びのため大元公園へ。

雪の感触や冷たさにビックリする乳児さん。あまりの冷たさに涙する子も。

雪に喜び、手形をつけてみたり雪をすくっては舞い上げたりする幼児さん。

雪の冷たさで手が痛くなるけど、それよりも手形がつくことの驚きや雪が硬くなる不思議さなど、いろいろなことを感じながら、雪遊びを楽しんでいました。

2 その他（自然体験活動の実施における今年度のプロセス）※記入必須

- ・ 職員の資質向上について

（例）こども環境管理士を担当保育士が取得（12月）

森のようちえん指導者講座受講(6月)

森のムッレ教室

北海道自然保育視察(2月)

- ・ 地域との関わりについて

（例）専門知識のある地域の方に園庭のぶどうの木の選定や野菜づくりを月一回交流（毎月）

砂浜の清掃活動

地域の農園の方に、園庭の畑の土づくりや野菜栽培の指導

農園での活動のサポートをしていただいた。

シーカヤック体験の提供をしていただいた。

収穫した芋を使用し、地域のお寺で焼き芋会

- ・ 保護者との関わりについて

（例）果物や野菜を保護者と一緒に収穫（毎月）

保育参加を行い、季節毎にフィールドを変え、一緒に遊んでいた。

芋ほりに一緒に参加していただき、一緒に収穫を楽しんだ。

- ・ その他

＊より詳しく活動をアピールしたい施設は、ホームページや SNS の URL をご記入ください。

U R L	https://www.instagram.com/niko_miyajima/?__pwa=1
-------	---